カッコウ

Pogostemon Herb

POGOSTEMONI HERBA

藿香　広藿香

本品は *Pogostemon cablin* Bentham　(*Labiatae*)　の地上部である．

生薬の性状　本品は茎及びこれに対生した葉からなる．葉はしわがよって縮み，水に浸してひろげると，卵形～卵状長だ円形を呈し，長さ 2.5 ～ 10 cm，幅 2.5 ～ 7 cm，辺縁に鈍きょ歯があり，基部は広いくさび形で葉柄を付ける．葉の上面は暗褐色，下面は灰褐色を呈し，両面に密に毛がある．茎は方柱形，中実で，表面は灰緑色を呈し，灰白色～黄白色の毛があり，髄は大きく，類白色で海綿状を呈する．ルーペ視するとき，毛，腺毛及び腺りんを認める．

本品は特異なにおいがあり，味はわずかに苦い．

本品の葉柄の横切片を鏡検〈*5.01*〉するとき，向軸面中央は大きく突出し，その表皮の内側に厚角細胞が認められる．中央部の維管束は 2 群に分かれる．葉身主脈部の横切片を鏡検〈*5.01*〉するとき，主脈の向軸面は大きく突出し，その表皮の内側に厚角細胞が認められる．中央部には扇状に配列した維管束がある．茎の横切片を鏡検〈*5.01*〉するとき，表皮の内側に数細胞層の厚角組織が認められる．ときに表皮下にコルク層が発達することがある．皮層の内側には並立維管束が環状に配列し，師部の外側に師部繊維群が認められる．皮層の柔細胞中に油滴が，髄の柔細胞中にシュウ酸カルシウムの針晶，単晶又は柱状晶が認められる．

確認試験　本品の粉末 0.5 g にメタノール 5 mL を加え，3 分間振り混ぜた後，ろ過し，ろ液を試料溶液とする．この液につき，薄層クロマトグラフィー〈*2.03*〉により試験を行う．試料溶液 5 μL を薄層クロマトグラフィー用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする．次にヘキサン/アセトン混液（9：1）を展開溶媒として約 10 cm 展開した後，薄層板を風乾する．これにバニリン・硫酸試液を均等に噴霧し，105℃で加熱するとき，R_f 値 0.4 付近に赤色のスポットを認める．

乾燥減量〈*5.01*〉　15.0%以下（6 時間）．

灰　分〈*5.01*〉　13.0%以下．

酸不溶性灰分〈*5.01*〉　3.0%以下．

精油含量〈*5.01*〉　本品の粉末 50.0 g をとり，試験を行うとき，その量は 0.3 mL 以上である．ただし，あらかじめフラスコ内の試料上にシリコン樹脂 1 mL を加え，試験を行う．